

井関農機(株) × 島根県 × 浜田市包括的連携協定の締結

令和4年2月、持続可能な発展のための有機米の産地づくりに向けた連携協定を締結
アイガモロボを活用した除草作業の省力化を進め、有機水稻の面積拡大を目指す。



連携協定締結式の様子



アイガモロボによる雑草対策の実証（令和4年度～）
令和6年度は、安価版アイガモロボの実証を実施

R4：4俵/10a

R5：4.5俵/10a

R6：9.5俵/10a 新型
(坪刈り収量)

目標：2回代かき × アイガモロボ
10俵/10a

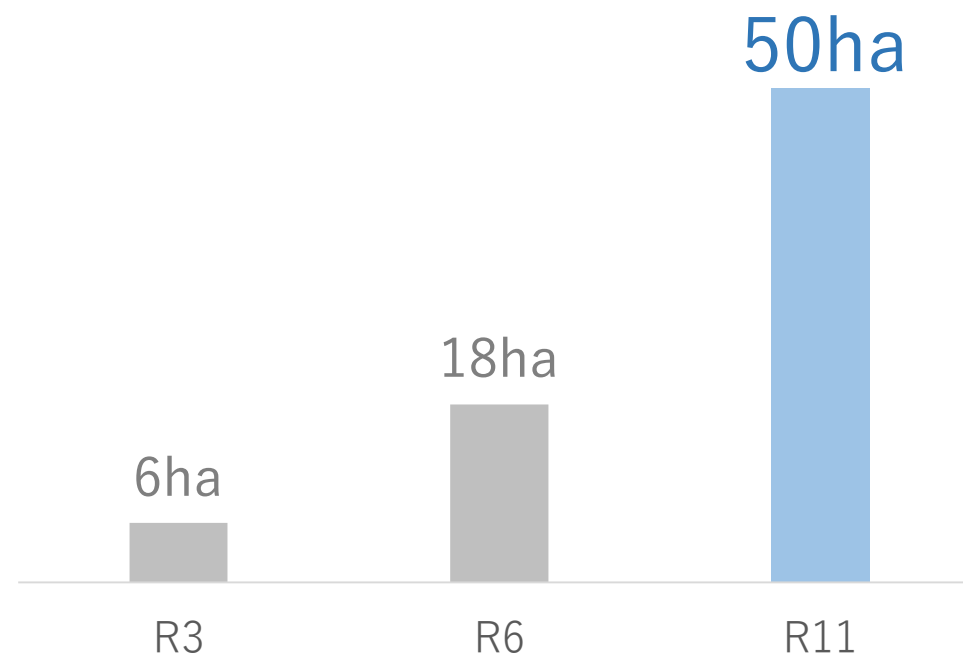
NPO法人民間稲作研究所による有機米栽培研修会の実施

省力・低コスト有機稲作の栽培方法を学び、有機米の収益性向上に繋げる。



雑草を抑える2回代かきの実習

有機米栽培面積（非JASを含む）



R6実証で7.5俵/10a

浜田市での有機米栽培体系の確立

生産者も5名から20名へ拡大

有機ニンジンの作業機械化による生産拡大

人口減少に伴う労働力不足解消のため、自動操舵機械導入し作業効率が大幅にアップ。
生産されたニンジンは、地元の学校給食にも提供。



畝立て



播種



除草



収穫

R4生産面積 20a



R7目標 1ha



R11目標 3ha

粃殻燻炭の活用による地域内循環の仕組みづくり

水稻農家が処分に困る粃殻を燻炭にして、土壌改良資材や有機米の育苗培土として活用。
また、Jクレジットの販売やクルベジ野菜の販売を通じて生産者の所得向上につなげる。



粃殻燻炭製造機



粃殻燻炭

R6 効果検証
(有機水稻・有機人参)



R7 地域内循環の仕組みづくり
(土壌改良による収益増で農家
所得向上)
(副産物としてJクレジット)

はまだバイオ炭プロジェクト（仮）



粃殻燻炭による土づくり

「みえるらべる」給食の実施

籾殻燻炭を施用した畑で育てた有機人参を学校給食に提供。
地元小学校で農林水産省職員による「みえるらべる」授業を実施し、環境意識を高める。



12/6「みえるらべる」授業の様子



「みえるらべる」を取得した有機人参

アイガモロボプログラミング（総合的学習）の実施

「プログラミングで農業に貢献する。」
農業との新しい関わり方をアイガモロボを通じて学んでもらい、未来の人材育成を図る。



アイガモロボ開発者による授業



田んぼでロボを走らせる小学生